令和元年度 岩手県社会人バスケットボールリーグ戦 開催要項

- 1 趣 旨 公益財団法人日本バスケットボール協会に登録した全チームに等しく公式試合の機会を提供するとともに、岩手県における社会人バスケットボールの普及、技術の向上を目的とする。
- 2 主 催 一般社団法人岩手県バスケットボール協会
- 3 主 管 一般社団法人岩手県バスケットボール協会競技運営部大会運営委員会
一般社団法人岩手県バスケットボール協会 社会人バスケットボール連盟
- 4 期 間 令和元年6月～令和2年2月
前期（予選リーグ） 6／8～9／23
後期（順位決定リーグ） 10／13～2／23
オーバーエイジリーグ 6／8～2／23
- 5 会 場 渋民運動公園総合体育館 黒沢尻体育館 大東体育館
- 6 参加資格 (1) 参加チームは、公益財団法人日本バスケットボール協会に登録した県内チームであること。
(2) JBAに加盟している複数チームによる合同チームの参加は、参加申し込み時に連盟に申請し許可を得ること。
(3) ひとつのチームから、複数のチームをエントリーすることができる。その場合、2番目のチーム名は（チーム名）Bとする。なお、リーグ戦期間中の選手の移動は認めない（年度内はエントリーした同じチームで出場すること）。
(4) 参加選手は、公益財団法人日本バスケットボール協会に登録した競技者であって、上記のチームに登録された選手であること。
(5) その他、移籍については、JBAの規定に則って行うこと。
※移籍に関わるJBAの主な規定
①年度初めに登録した選手の移籍は、その年度内に1回限り認める。選手が移籍を希望する場合、移籍元チームはこれを拒否できない。
(6) 日本バスケットボール協会E-1級以上のコーチライセンス有するもの1名以上登録したチームであること。
(7) 日本バスケットボール協会D級以上の資格を有する帯同審判員を1名以上登録したチームであること。
(8) リーグ戦会場準備など運営に参加することを義務とする。
(9) チームとしてスポーツ保険に入ることが望ましい。
- 7 競技方法 (1) 男子オープンカテゴリーは県内の地区に応じて6チーム 3～4リーグ構成とする。
(注:リーグ構成は参加チーム数により変動する)
予選リーグ終了後順位に応じて決定リーグへ進出する。
※登録数によりオーバーエイジカテゴリーを構成する。
(2) 女子オープンカテゴリーは県内の地区に応じて6チーム 2～3リーグ構成とする。

(注：リーグ構成は参加チーム数により変動する)

予選リーグ終了後順位に応じて決定リーグへ進出する。

※オーバーエイジカテゴリーを構成してのリーグ戦を開催する。(通年)

- 8 競技規則
- (1) 現行の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則に準ずる。
 - (2) ベンチ入りは、監督1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手15名の合計19名以内とする。ただし、参加申込のエントリー人数については、コーチの人数も含めその限りではない。
 - (3) 順位の決定は勝ち点制とし、勝ち3点、同点引き分け1点、負け・没収試合0点とする(同点引き分け制を採用)。勝ち点が並んだ場合は、該当チーム同士の勝敗を優先し、それでも順位が決定しない場合は得失点差によって勝敗を決める。得失点差も同じ場合は、両チーム同順位とする。
 - (4) リーグ内で棄権するチームが出た場合は、当該チームの順位を最下位とし、当該チームとの対戦を除いた対戦結果で順位を決定する。
 - (5) 各試合のオフィシャルは4名以上とする。また審判員・オフオフィシャルは割り当てられている当該試合を無断で欠席した場合、直ちにそのチームは全試合を失格とする。オフィシャルチームは試合終了後、速やかに試合結果を事務局に報告することを義務とする。失格したチームもゲームは交流戦として参加しリーグ運営を怠ることは許されない。
 - (6) 選手の追加登録は正規の登録手順を踏んで行ったときのみ認める。
 - (7) 高校生(同等の資格を有する生徒)は、日本バスケットボール協会の正規登録手順に従って行った者のみ参加を認める。
- 9 参加申込
- (1) 参加チームは所定の申込書に記入のうえ下記のアドレスに送信のこと。
coach50363@yahoo.co.jp 6月3日必着
・大会参加料10000円を下記の口座に振り込むこと。
岩手銀行 大通支店 普通預金 2172696
口座名 岩手県社会人バスケットボール連盟 理事長 野原則彦
6月3日までに振込みを完了すること。
- 10 その他
- (1) 審判については、すべて帯同審判とする。ただし、審判員が確保できない場合は、ニュートラル審判制度を活用すること。
 - (2) その他の事項については、岩手県社会人バスケットボール連盟理事会の決定に従うこと。

(2) 帯同審判以外の審判員を依頼する際は、手配は自チームにて行い謝礼のほか旅費も支払うこととする。審判謝礼は1試合につき**5000**円とする。

(3) 各チームは、**帯同審判を自助努力により必ず1名以上登録**することとする。

大会日程前に帯同審判の都合が見つからないなど準備できない場合は、チームが自力で代替の帯同審判員を見つけることとする。この際、チームは連盟地区担当者に連絡し調整協力を依頼することができる。

連盟地区担当者は、他の連盟地区担当者等と連絡調整を行い、参加可能な審判員をチームに紹介する。チームは、紹介された審判員に帯同を依頼し、謝礼および交通費等を準備すること。

上記の対応を行ったにもかかわらず、どうしても審判員の確保が難しい場合は、県協会審判部の「**派遣システム制度**」により、審判員の派遣を措置してもらうことができる。この制度は、プレイヤーズファーストの精神を鑑み、チームの大会参加を妨げないようにする**救済措置**である。その際、連盟競技会で設定する謝礼を**チームが必ず派遣審判員に対し支払うこと**とする。そのため、参加チームがこのシステムを安易に活用し、審判員の育成・確保への努力を怠るようなことはあってはならないことである。